

はじめに ————— 3

## 第一部

### 訓読の基本・訓点の付いている文章を読んでみる

返り点と送り仮名 ————— 12

文章1 朋有り遠方より来る ————— 14

文章2 人を知らざるを患ふるなり ————— 18

文章3 君子は言に訥にして ————— 20

文章4 之を楽しむに如かず ————— 22

文章5 勇者は必ずしも仁有らず ————— 24

文章6 天将に夫子を以て木鐸と為さんとす ————— 26

## 第二部

### 白文で読んでみる

文章1 吾十有五にして学に志す ————— 34

文章 2	温故知新	40
文章 3	父母の年、知らざるべからざるなり	42
文章 4	朝に道を聞かば、夕べに死すとも可なり	46
文章 5	学びて思はざれば則ち罔し	48
文章 6	過てば則ち改むるに憚る勿かれ	52
文章 7	丘の学を好むに如かざるなり	58
文章 8	其の身正しければ、令せずとも行はる	62
文章 9	之を道くに徳を以てし	66
文章 10	己を知る莫きを患へず	70
文章 11	天徳を予に生せり	74
文章 12	女と回と孰れか愈る	78
文章 13	弟子孰か学を好むと為す	86
文章 14	顔淵死す	94
文章 15	過ぎたるは猶ほ及ばざるがごとし	98
文章 16	未だ生を知らず、焉くんぞ死を知らんや	104
文章 17	老いの將に至らんとするを知らず	110

文章 18 君子も亦た窮すること有るか

116

文章 19 士は以て弘毅ならざるべからず

124

文章 20 孟之反、伐らず

130

文章 21 己の欲せざる所、人に施す勿かれ

136

文章 22 子貢、政を問ふ

144

文章 23 賜や、始めて与に詩を言ふべきのみ

154

文章 24 君子の徳は風なり、小人の徳は草なり

164

あとがき

172